

# 四條畷ヒルクライムデュアスロン大会 ローカルルール

## 総則

1. 本大会は（公社）日本トライアスロン連合競技規則と四條畷ヒルクライムデュアスロン大会（以下「本大会」という）のローカルルールに従って競技を行う。
2. 競技中は審判員及び大会スタッフ・施設管理者等の指示に従うこと。
3. 競技内容に変更がある場合は、競技説明会で告知する。また、競技説明会への出席を義務とする。
4. キープレフト走行を厳守する。
5. ショートカットは失格とする。
6. コース上へのゴミ等の放置を禁止する。
7. ヘッドホン、イヤホンを装着して競技を行うことを禁止する。
8. 「減速・追越し禁止区間」では、審判員の誘導に注意しながら、減速して一列走行を厳守する。

## レースナンバー

1. レースナンバーはヘルメット（正面と右側面）。バイクサドルの下に左側から見えるように貼付し、バイクは背面、ランは正面にレースナンバーを付けること。レースナンバーベルトの着用を認めるが、レースナンバーベルトが腰の位置より極端に下がらないように注意しなければならない。レースナンバーベルトはしっかりしたものを使用すること。
2. レースナンバーの加工を禁止する。加工されたレースナンバーを使用した場合は失格とする。ただし、レースナンバーベルトを使用する際に穴をあけることは可とする

## 記録計測について

1. ICタグ内臓のアンクルバンドを装着して（左右いずれかの足首）競技すること。各計測地点でこれを用いて計測・記録する。フィニッシュの着順判定は、アンクルバンドによる計測を基とする。
2. アンクルバンドは、各クラス共スタート直前に配布し、フィニッシュ後にスタッフが直ちに回収する。
3. 途中棄権する競技者は近くの審判員等にその旨を伝え、アンクルバンドを審判員等に返却する。

## トランジション

1. 競技に関係の無い持ち物、邪魔になるような大きな物の持ち込みを禁止する。

2. トランジションエリアへの準備のための入場、フィニッシュ後の撤収はスタッフ等の指示に従うこととする。

#### ラン

1. キープレフトを原則とし、追い越しは必ず右側からとする。
2. 周回数のカウントは各自の責任で行う。周回数の少ない者は失格とする。

#### バイク

1. ドラフティング禁止レースとする。
2. キープレフトを原則とし、追い越しは必ず右側からとする。
3. 使用するバイクについては24インチ以上のロードレーサーまたはトライアスロンバイクを基本とする。(前後輪にブレーキの装着がないバイク及びピストバイクでの出場は禁止とする。)
4. ハンドルはドロップハンドルを基本とする(DHバーの着用可)。但し、DHポジションで走行は禁止とする。
5. ディスクホイールの使用を禁止する。
6. バイクコースにはエイドステーションはありません。専用のバイクボトルやサプリメントを各自で用意し補給すること。(ペットボトルの携行は禁止とする)
7. 乗降車ラインについては、スタンプルール(乗車ラインを超えた地面に片足が着いた後乗車、降車ラインの手前で着地)を適用する。
8. 周回数のカウントは各自の責任で行う。周回数の少ない者は失格とする。

#### ペナルティー

1. 審判が把握した違反行為1つにつき15秒のペナルティーを課す。
2. 他の競技者を妨害する行為は、無意識であっても失格、ペナルティーの対象となる。
3. 他の競技者、マーシャル(審判)、ボランティア、観客に対する暴言は失格、ペナルティーの対象となる。
4. タイムペナルティーはフィニッシュ後のタイムに加算する。

#### その他

1. 完走後であっても交通規制中の13時までは、車で会場からの退出は出来ません。
2. 大会以前の大阪電通大学と四条畷霊園大黒天如在寺のコース下見はご遠慮ください。